



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 後根 桂二 (TEL) 03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,416	2.2	△278	—	△267	—	△308	—
27年3月期第2四半期	7,253	△9.0	△519	—	△525	—	△566	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △334 百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △469 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△37.42	—
27年3月期第2四半期	△69.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第2四半期	9,742	56.2	5,474	56.2	56.2
27年3月期	9,574	60.5	5,793	60.5	60.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,474 百万円 27年3月期 5,793 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	8.0	500	—	420	—	370	—	44.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	9,110,000株	27年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	836,799株	27年3月期	866,799株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,258,059株	27年3月期2Q	8,185,087株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の低迷に加え、中国経済の減速により輸出が弱含みの状況であるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり回復基調を維持しています。

情報サービス産業におきましては、本年10月に経済産業省が発表した平成27年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、8月の売上高は前年同月比3.4%増と一昨年8月から25ヵ月連続で前年同月比の増加が続いております。また、売上高全体の半分を占める「受注ソフトウェア」も、大手企業が収益の堅調を背景に情報化投資を進めたことから、前年同月比2.7%増と一昨年11月以降22ヵ月連続で増加しております。一方で、クラウドサービス提供企業の参入等により競争環境の厳しさが増すとともに、中国など新興国経済の減速感の強まりにより、情報化投資を見送るなど一部では慎重姿勢が出てきております。

このような状況のもと当社グループは、創業50年の節目である今期を初年度とする新たな3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」を策定し、基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に取り組むとともに、経営に大きな影響を与えるような不採算プロジェクトの発生を抑えています。また、全社で積極的にワークライフバランスに取り組んでおり、各部門が独自に施策をたて実行することで、残業時間の大幅な削減とともに、社員一人ひとりの私生活と仕事の調和をはかっています。

その一方で、収益環境につきましては、受注高・売上高は前年同期を上回ったものの、既存顧客からの大型の受託開発案件の減少により厳しい状況にあります。

以上のような状況により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は8,223百万円(前年同期比281百万円増、3.5%増)、売上高は7,416百万円(同162百万円増、2.2%増)、営業損失は278百万円(前年同期は519百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は308百万円(前年同期は566百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は5,087百万円(前年同期比564百万円減、10.0%減)、売上高は4,738百万円(同219百万円減、4.4%減)、営業損失は177百万円(前年同期は433百万円の損失)となりました。

今期は、官庁系・運輸系の既存顧客がシステムリプレース等の端境期に当たり、これら顧客の需要の減退が予想されたことから、医療系・メディア系・流通系などを中心に新規案件獲得を積極的に推進した結果、医療系・メディア系において新規の大型案件の受注を獲得いたしました。しかしながら、官庁系・運輸系の案件減少を補うまでにはならず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、プロジェクト管理の徹底をはかり不採算案件の発生を抑制したことなどにより、前年同期から損失を縮小させることができました。

② S I 事業

受注高は734百万円(前年同期比179百万円減、19.6%減)、売上高は926百万円(同51百万円減、5.2%減)、営業利益は62百万円(同45百万円増、261.1%増)となりました。

新規案件獲得を積極的に推進したことにより、既存顧客における基幹システムのグローバル展開案件への参画が決まるなど、ERP系において新規の大型案件を獲得いたしました。しかしながら、継続案件の終息・縮小などによる影響を払拭するまでにはならず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、高収益案件が増えてきたことなどにより、前年同期を上回ることができました。

③ プラットフォーム事業

受注高は1,739百万円(前年同期比1,216百万円増、232.9%増)、売上高は930百万円(同470百万円増、102.3%増)、営業損失は19百万円(前年同期は67百万円の損失)となりました。

インフラ構築系の大型案件を受注したことにより、受注・売上高ともに前年同期から大幅な増となりました。損益面につきましては、前述の大型案件が、機器調達が大半を占める収益性の低い案件を内包していることから、営業損失を解消するまでにはいたりませんでした。売上高の増加に伴い、前年同期から損失を縮小させることができました。

④ その他

その他に含まれる事業は、主に運用・保守、機器販売・ライセンス販売等であります。

受注高は661百万円(前年同期比191百万円減、22.5%減)、売上高は821百万円(同37百万円減、4.4%減)、営業損失は88百万円(前年同期は42百万円の損失)となりました。

機器販売およびライセンス販売等が堅調に推移したものの、EC/W e b系の継続案件の縮小などにより、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、製品販売を中心に営業力強化をはかるべく営業体制の見直しを行い、積極的に受注獲得を目指したものの、上期中での案件立ち上げまでにはならず、営業損失を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,841百万円(前連結会計年度末比307百万円増、5.6%増)となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の増加、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,901百万円(前連結会計年度末比139百万円減、3.4%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの償却による減少、投資有価証券の売却等による減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、3,203百万円(前連結会計年度末比325百万円増、11.3%増)となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の増加であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、1,063百万円(前連結会計年度末比162百万円増、18.0%増)となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,474百万円(前連結会計年度末比319百万円減、5.5%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、769百万円(前連結会計年度末比212百万円減、21.6%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失の計上(267百万円)、売上債権の増加(195百万円)、たな卸資産の増加(314百万円)、未払消費税等の減少(143百万円)などの減少要因により、667百万円の減少(前年同四半期は104百万円の減少)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(24百万円)などがあったものの、投資有価証券の売却等による収入(53百万円)などにより、16百万円の増加(前年同四半期は10百万円の増加)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による減少(175百万円)などがあったものの、短期借入金の純増(100百万円)、長期借入れによる収入(500百万円)などにより、439百万円の増加(前年同四半期は53百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「連結財務諸表に関する会計基準」等の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,988	769,930
受取手形及び売掛金	3,998,230	4,193,642
有価証券	100,910	100,100
商品及び製品	144,751	134,889
仕掛品	130,431	454,448
その他	181,242	191,998
貸倒引当金	△3,660	△3,634
流動資産合計	5,533,894	5,841,374
固定資産		
有形固定資産	127,314	125,847
無形固定資産		
のれん	512,312	492,805
その他	581,957	535,384
無形固定資産合計	1,094,270	1,028,189
投資その他の資産		
投資有価証券	2,689,670	2,612,316
その他	131,937	137,701
貸倒引当金	△2,886	△2,886
投資その他の資産合計	2,818,722	2,747,131
固定資産合計	4,040,307	3,901,169
資産合計	9,574,201	9,742,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,382	828,739
短期借入金	500,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	310,000	476,666
未払法人税等	29,556	22,870
賞与引当金	533,065	526,250
受注損失引当金	1,467	15,464
その他	743,169	734,005
流動負債合計	2,878,642	3,203,997
固定負債		
長期借入金	772,801	930,217
資産除去債務	97,189	99,457
その他	31,864	34,280
固定負債合計	901,855	1,063,954
負債合計	3,780,498	4,267,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,647,086	3,338,109
自己株式	△293,049	△277,559
株主資本合計	5,598,511	5,305,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,434	33,686
退職給付に係る調整累計額	153,756	135,879
その他の包括利益累計額合計	195,191	169,565
純資産合計	5,793,702	5,474,591
負債純資産合計	9,574,201	9,742,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	7,253,897	7,416,306
売上原価	6,514,154	6,372,941
売上総利益	739,742	1,043,365
販売費及び一般管理費	1,259,011	1,322,216
営業損失(△)	△519,269	△278,851
営業外収益		
受取利息	1,792	1,194
受取配当金	1,263	1,258
投資事業組合運用益	6,919	16,700
持分法による投資利益	-	13,396
その他	24,536	16,971
営業外収益合計	34,511	49,522
営業外費用		
支払利息	14,682	11,885
支払手数料	10,431	25,383
持分法による投資損失	13,146	-
その他	2,220	1,181
営業外費用合計	40,481	38,450
経常損失(△)	△525,238	△267,779
税金等調整前四半期純損失(△)	△525,238	△267,779
法人税等	41,373	41,196
四半期純損失(△)	△566,612	△308,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△566,612	△308,976

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△566,612	△308,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,466	△8,863
持分法適用会社に対する持分相当額	94,348	△16,761
その他の包括利益合計	96,814	△25,625
四半期包括利益	△469,797	△334,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△469,797	△334,602
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△525,238	△267,779
減価償却費	45,258	81,206
のれん償却額	19,507	19,507
受注損失引当金の増減額(△は減少)	84,591	13,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△614	△25
受取利息及び受取配当金	△3,055	△2,453
支払利息	14,682	11,885
持分法による投資損益(△は益)	13,146	△13,396
売上債権の増減額(△は増加)	872,477	△195,411
たな卸資産の増減額(△は増加)	△384,292	△314,154
その他の資産の増減額(△は増加)	△48,341	△51,356
仕入債務の増減額(△は減少)	△171,748	67,357
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,469	△6,815
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,493	△143,584
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,311	142,950
その他	△8,088	△22,320
小計	△97,051	△680,396
利息及び配当金の受取額	70,289	36,068
利息の支払額	△14,672	△12,200
法人税等の支払額	△63,536	△11,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,971	△667,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,092	△6,796
無形固定資産の取得による支出	△91,765	△24,275
有価証券の償還による収入	100,000	-
投資有価証券の売却による収入	13,800	53,262
その他	△4,482	△6,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,458	16,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	100,000
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△181,352	△175,918
自己株式の売却による収入	19,466	15,490
配当金の支払額	△84,404	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,709	439,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△40,803	△212,058
現金及び現金同等物の期首残高	734,159	981,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	693,355	769,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,957,545	977,335	459,783	6,394,664	859,232	7,253,897	—	7,253,897
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	293,487	4,115	286	297,889	184,636	482,526	△482,526	—
計	5,251,032	981,451	460,070	6,692,554	1,043,869	7,736,423	△482,526	7,253,897
セグメント利益 又は損失(△)	△433,025	17,392	△67,809	△483,442	△42,232	△525,674	6,405	△519,269

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,405千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,738,125	926,157	930,359	6,594,642	821,663	7,416,306	—	7,416,306
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	198,769	8,704	73	207,547	225,973	433,520	△433,520	—
計	4,936,894	934,861	930,433	6,802,189	1,047,636	7,849,826	△433,520	7,416,306
セグメント利益 又は損失(△)	△177,161	62,809	△19,419	△133,771	△88,237	△222,008	△56,842	△278,851

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△56,842千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発事業	5,087,234	△10.0	2,782,417	△19.5
S I 事業	734,948	△19.6	290,208	△36.0
プラットフォーム事業	1,739,416	232.9	1,051,000	261.0
その他	661,929	△22.5	256,139	△43.9
合 計	8,223,529	3.5	4,379,765	△6.0

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。